

<p>2008年 秋号</p> 	<h1>松下賢一郎</h1> <h2>議会レポート</h2>	<p>発行責任者 藤沢市議会議員 松下賢一郎 0466-34-4570 matusita@tbb.t-com.ne.jp</p>
---	--------------------------------	--

藤沢市議会 9 月定例会において、松下賢一郎は連続29回目(10年)となる一般質問(個人質問)を行い、今回は学校における「暴力・いじめ・不登校」の問題を取り上げました。

「暴力」「いじめ」「不登校」の現状と対策について！

【「暴力行為」について】2007年度は、対教師暴力30件、生徒間暴力63件、対人暴力1件、器物損壊91件の合計185件となり、対前年度比では2倍近く増加していて、増加の要因としては、ささいなことからカッとして暴力をふるう生徒や、暴力行為を繰り返す生徒が増えています。



このような現状に対し、「学校の秩序を維持し、他の児童生徒の教育を受ける権利を保障する」ためには、十分な教育的配慮のもとで「出席停止」にすることもやむを得ない措置だと思います。しかし、出席停止に至るまでの経緯(措置)を明確にして、事前に保護者をはじめ地域住民に対し、出席停止措置の運用に至るルールを十分に説明して理解を求めるよう提言をしました。

【「いじめ」について】小学校では前年度とほぼ同じですが、中学校では、昨年度の201件から大幅に減少しており、教育委員会としては、未然防止に向けた取り組みが功を奏したと分析していますが、子どもがいじめを受けたときに発しやすいサイン、例えば「服装の汚れ」や「授業参観などで保護者が学校に来ることを嫌がる」など、いじめの被害者が出しやすいサインのほか、「買い与えた覚えのない物を持っている」といった、いじめに加担している兆候などをリスト化した「いじめ発見チェックシート」を作成し、家庭で取り組むいじめの未然防止策として活用するよう提言しました。

「ネットいじめ対策」として、藤沢市の「学校裏サイト」の実態調査を早急に行うよう提言してきましたが、7月にアンケート調査が実施され、その結果「学校裏サイト」については、小学校の11.8%、中学校の57.9%で把握をされていることが分かりました。今後は、学校と家庭が連携して取り組むことが大切という視点から、保護者対象の学習会が推進されることとなります。

【「不登校」について】不登校の児童生徒は小中ともに増加しており、特に中学生は学年が上がるごとに増えるなど、全学年(1年生:77人 2年生:130人 3年生:142人)で増加が見られ、中学生全体の349人は2003年度の357人に次いで多い人数となりました。

また、「不登校の状態が前年度から継続している児童生徒数」は、中学3年生で142人中110人とすることが明らかとなり、卒業後の進路を含め早急に支援策を充実させる必要があります。

【藤沢市小中学校の暴力・いじめ・不登校の現状(過去6年間)】

		2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
暴力行為		68件	59件	80件	71件	98件	185件
いじめ	小学校	1件	2件	0件	2件	39件	37件
	中学校	46件	61件	45件	40件	201件	96件
不登校	小学校	77人	71人	78人	81人	59人	70人
	中学校	324人	357人	317人	293人	323人	349人
	合計	401人	428人	395人	374人	382人	419人

9月市議会の補正予算で実現に向け大きく前進しました！

藤沢市議会9月定例会に上程された「平成20年度一般会計補正予算」において、松下賢一郎が推進してきた施策のなかで、実現する見通しが明らかになった事業をここでご紹介いたします。

環境都市を目指して地球温暖化対策を推進！

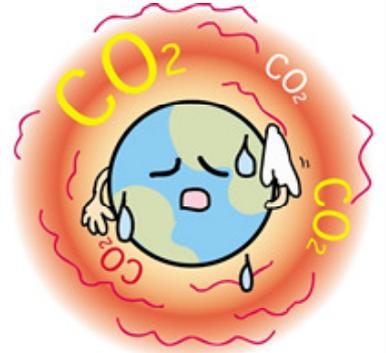
環境負荷軽減のため、市役所新館の1階(窓口センター)と本館3階(議会フロア)の照明器具をLED(発光ダイオード)照明に交換する補正予算600万円が計上されました。これにより年間の電気使用量が削減されるとともに、CO₂排出量も大幅に削減されます。[LEDは蛍光灯に比べて消費電力が約2分の1で済み環境負荷が低い発光体です]

松下賢一郎は、老朽化した市役所庁舎への省エネ対策を取り入れるため、ESCO(エスコ)事業の導入を推進してきました。

[ESCO事業とは:省エネルギーを中心に包括的なエネルギーサービスを提供する事業です]

『藤沢市環境大賞』が制定されます。地球温暖化対策に積極的に取り組む個人、団体等のアイデアや事業に対し表彰する制度が明年(6月の環境フェア)から始まります。

松下賢一郎は昨年12月市議会において、ごみ減量や環境美化に取り組む個人や団体などを表彰する市独自の「環境賞」を制定して、環境に対する市民意識の向上を図るよう提言してきました。



子ども達の体力向上にむけて「新体力テスト」が実施されます！



子どもの体力や運動能力の低下が問題になっているなかで、文部科学省は全国の小学5年生と中学2年生を対象にした「全国体力テスト」を今年度から実施することにしました。

実施する目的は、子どもたち一人ひとりの生活習慣や学校の指導体制などが体力や運動能力にどう関係しているのかを調査し、体力向上を図るための具体的方策を各学校や家庭で検討するためで、藤沢市でも早急に実施するよう6月議会で提言をしたばかりです。

これに対し藤沢市教育委員会は、体力テストの実施時間にかかなりの時間を要し、他の授業カリキュラムに影響が大きいこと、また、テストの指示や計測に係わる教職員が足りないことや、計測器具が不足しているため全校での実施は難しいとしてきましたが、来年度から市立小中学校全校で「新体力テスト」が実施できるよう計測器具の購入費等約400万円を補正予算として計上しました。

また、テストに要する時間を短縮するために、藤沢市スポーツ振興財団や体育関係機関の協力を得て、各学校に計測ボランティアを派遣して対応することが明らかとなりました。

実施にあたっては、児童生徒一人一人の体力について本人がしっかり自覚することが大事であり、著しく体力が劣る児童生徒には、「体力向上プログラム」などの具体的な取り組みを示して、健全な身体を育むための教育を推進するよう提言しました。

松下賢一郎プロフィール <http://www.k-matusita.com>

1958年(昭和33年)生まれ 50才 鎌倉学園高校卒 神奈川大学卒
 高校・大学では野球部で1番・ショート 神奈川トヨタ自動車(株)に17年間勤務
 平成11年4月藤沢市議会議員初当選(現3期) 公明党藤沢総支部長
 民生常任委員会委員長(平成17年度) 行政改革等特別委員会委員長(平成19・20年度)